

多発する自然災害

分かりやすい情報発信を

地域の自助・共助も重要

豪雨、台風、地震などの自然災害が多発している。各種避難情報の発令を具体的で分かりやすい表現に改める必要があるのではないかと、また、市職員数が減少し、要援護者・要配慮者数は増加する中、災害発生時の初期対応が適切にできるのか。他市では、災害発生時

に要配慮者を地域の自主防災組織やボランティアが行政と協力し援助する取り組みがあるが、市の認識を問う。避難準備・高齢者等避難開始などの避難情報の呼称は、国が示した全国的なものであり変更は難しい。今後、災害の状況に応じて、本市がどのような状況

にあるか、どういった行動が必要か、避難場所等の情報も含め、より分かりやすく伝える工夫をしたい。また、今後、行政だけでの対応には限界があると予想される。地域の自助・共助の取り組みは重要であり、災害発生時の行政と地域コミュニティの役割については、避難所の開設・運営に地域の方の協力



7月豪雨で増水した明石川

が得られないか、自治会館等を避難所にできないか、それぞれ検討する必要があると考えている。

市の基金残高

災害や今後の事業に備え 35年度末で70億円が目標

国では財務省において、地方公共団体の基金残高の増加を理由に地方交付税削減の議論が行われている。本市の平成29年度決算における財政基金、減債基金、特別会計等財政健全化基金の3基金残高は約86億円であり、財務省での議論と今後の基金残高に対する見解を問う。

害対応への備え、地域のさまざまな課題への対処のため基金を積み立てており、地方交付税を安易に削減しないとする総務省等と同じ見解だ。本市の28年度末の全基金残高は10年前と比較し1%増とほぼ変化がないものの、3基金残高は17%減となっており、市財政健全化推進計画では35年度末で3基金残高70億円の確保を目標に掲げている。兵庫県南部地震の際には40億円を取り崩しており、一定程度の蓄えは必要であること、次期ごみ処理施設や市役所新庁舎の整備等の財政負担を伴う事業が予定されていることから、基金残高の確保は今後の事業計画等を踏まえ検討し、中長期的に持続可能な財政運営に努めたい。

75歳以上の市民対象

チェックシートで認知症を早期発見 認知症サポーターへの支援も

本市の新たな認知症施策と認知症サポーターの取り組みを聞く。

認知症は早期発見により進行を遅らせることができる場合もあるが、検診や医療機関の受診をためらう人が多い。そこで、75歳以上の市民を対象に、認知症早期支援事業を実施する。まず、認知症チェ



チェックしてみませんか

ックシートを提出した全員に500円分の図書カードを進呈する。次に、回答結果により認知症の疑いがある人には、医療機関での初診費用等の助成を行う。また、認知症と診断された人には、居場所探索用GPS端末の基本使用料等を1年間無料にするなどの経済的支援を行う。さらに、地域総合支援センターとの連携により、医療や介護、地域での見守り

コミュニケーション支援ボードとバリアフリーマップの導入予定について聞く。

コミュニケーション支援ボードは、分かりやすいイラストに指をさしたり、筆談により意思疎通を図ることができると、話し言葉による会話が難しい人や障害のある人、外国人や高齢者だけでなく、

あらゆる人と意思疎通を図る

コミュニケーション支援ボード設置とバリアフリーマップを作成予定

あらゆる人との意思疎通に効果的だ。本市は救急現場や災害時の避難所など、緊急度の高い場所から設置したいと考えている。コミュニケーション支援ボードは、障害のある人など当事者の目線に立ち、分かりやすく伝えられるよう心掛けるとともに、市のホームページからもダウン

ロードできるようにしたい。また、10月に明石駅から市役所周辺のバリアフリー状況を調査し、バリアフリーマップを作成する予定だ。掲載内容は障害のある人など当事者の意見を参考に、筆談ボードや点字メニューがある店の情報を紹介することも含めて検討したい。誰もが暮らしやすく、



タブレットによる筆談対応 (明石観光協会)

住み続けたい、訪れたいと思われればまちづくりのために、今後もこのような取り組みを進めていく考えだ。

第2回 高校生議会を開催

未来を担う若者に、議会や市政について関心を深めてもらうため、議会活性化の取り組みの一つとして、高校生議会を開催します。当日は、市議会議員に対して高校生がテーマごとに提案を行います。さらに、高校生が賛成・反対の立場で意見を述べた後に多数決による採決を行います。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日時 平成30年11月17日(土) 午前10時～11時30分頃(開場9時45分) 会場 明石市役所議会棟3階 本会議場 参加高校生 市内の高校に在学中の1・2年生 傍聴 当日、直接会場にご来場ください。先着順で受け付けします。(定員75名)

問い合わせ/明石市議会議会局 議事課 電話(078)918-5060 FAX(078)918-5112

三好議員に感謝状

三好宏議員が兵庫県市議会議長会から感謝状を贈られ、9月7日の本会議で議長から披露されました。これは同議員が議長、副議長を合わせて2年以上務められ、地方自治振興に尽くされた功績によるものです。

議員ふもやま話

来年、明石市は100周年を迎えます。豊かな生活が今後も続くことを願います。第一次世界大戦の戦乱を経て、明石市を運営された先人達は大変だったと思います。民主主義の進展など明るい兆しを感じられたでしょうが、移動手段である自動車も少なく、テレビや携帯電話や水洗トイレもなかった時代でした。それでも英知を駆使し誇れるまちづくりにまい進され、例えば巨費を投じての天文学的建造などは斬新で見事な出来栄です。全般的に今日の土台がしっかり築かれたことは事実です。でも100年後は…。恐らくさらに暑い夏になっているのでしょうか。